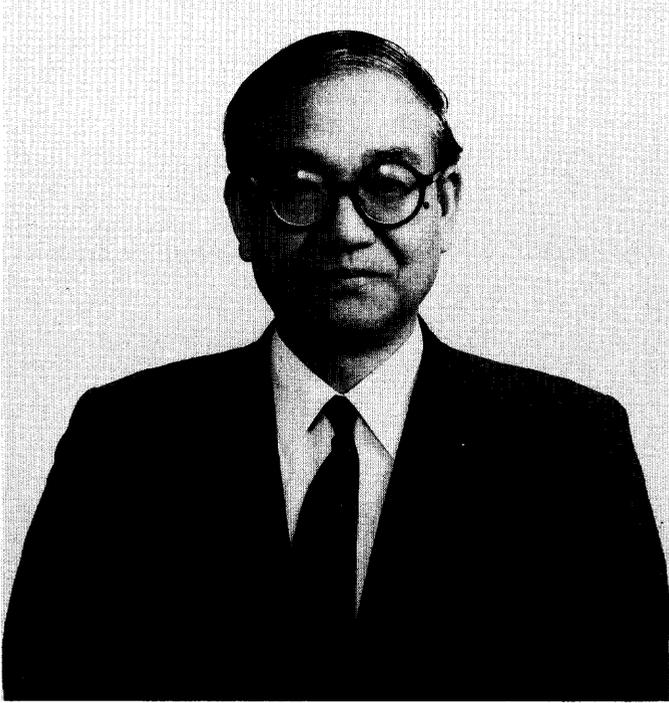


[021] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9893>

出版情報：中国文学論集. 21, 1992-12-31. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：



秋吉 久紀夫 教授 近影

秋吉勝廣（筆名秋吉久紀夫）教授 年譜略

- 一九三〇年一月 七日 福岡県遠賀郡上津役村大字穴生二〇五二番地（現北九州市八幡西区穴生二丁目六ノ三）に生まる
- 一九四二年三月 十八日 福岡県八幡市上津役国民学校卒業
- 一九四六年三月 六日 福岡県立東筑中学校卒業
- 一九四九年三月 十日 小倉市立小倉外事専門学校卒業
- 同年四月 九州大学文学部入学
- 一九五四年三月二十七日 九州大学文学部文学科（中国文学専攻）卒業（旧制）
- 同年四月 福岡県立小倉西高等学校教諭
- 一九六六年四月 一日 近畿大学第二工学部専任講師
- 一九六六年七月～八月 中国学術調査団の一員として一ヶ月間、日中国交回復前に視察調査
- 一九六九年四月 一日 近畿大学第二工学部助教
- 一九七〇年十月 一日 近畿大学第二工学部教養課程主任（代理）（一九七四年八月三十一日まで）
- 一九七一年七月 一日 近畿大学第二工学部図書分館長（一九七四年八月三十一日まで）
- 一九七四年四月 一日 近畿大学第二工学部教授
- 一九七四年九月 一日 福岡県立福岡女子大学文学部教授
- 一九七六年四月 一日 福岡県立福岡女子大学評議員（一九七八年三月三十一日まで）
- 一九七七年六月 三日 論文『近代中国の文学運動の展開』により、九州大学より文学博士の学位（乙第三三二号）を授与せらる。
- 一九八〇年四月 一日 弘前大学人文学部講師（一九八〇年九月三十日まで）

秋吉勝廣（筆名秋吉久紀夫）教授 年譜略

中国文学論集 第二十一号

- 一九八〇年四月 一日 福岡県立福岡女子大学評議員（一九八二年三月三十一日まで）
一九八一年一月 一日 福岡県立福岡女子大学附属図書館長（一九八二年三月三十一日まで）
一九八二年十月 一日 九州大学教養部教授
一九八四年十月 一日 北京大学中国文学系外籍教授の資格で北京大学に留学（一九八五年三月三十一日まで）
一九八五年一月二十五日 北京大学における第三回北京日中文化交流研究会に出席、研究発表
一九八五年四月 一日 九州大学文学部講師併任、九州大学大学院文学研究科担当（一九八七年三月三十一日まで）
一九八七年四月 一日 福岡教育大学講師（一九八八年三月三十一日まで）
一九八七年七月 一日 北京大学中国文学系外籍教授の資格で北京大学に留学（一九八八年三月三十一日まで）
一九八八年四月 一日 九州大学文学部講師併任、九州大学大学院文学研究科担当（一九八九年三月三十一日まで）
一九八八年四月 八日 九州大学言語文化部教授（配置換え）
一九八八年七月 十一日 韓国ソウル大学における第一回九州大学・ソウル大学中国学会に出席、研究発表
一九九〇年十月 一日 山口大学人文学部講師（一九九一年三月三十一日まで）
一九九一年四月 一日 九州大学文学部講師併任、九州大学大学院文学研究科担当（一九九三年三月三十一日まで）
一九九一年十月 一日 福岡教育大学講師（一九九三年三月三十一日まで）
一九九二年三月二十七日 台湾台中の静宜女子大学における台湾文学研究で翻訳研討会に出席、研究発表
一九九二年四月 一日 九州大学教養部審議会委員（一九九三年三月三十一日まで）
一九九三年三月三十一日 九州大学言語文化部教授を定年退官

秋吉勝廣（筆名秋吉久紀夫）教授 業績目録

一 著訳書

- 1 詩集『南方ふぐのうた』（飯塚書店 一九六二年二月二十五日）
- 2 訳編『中国現代詩集』世界現代詩集第六卷（飯塚書店 一九六二年一月一日初版 一九六七年五月一日再版）
一九七四年六月一日三版）
- 3 訳編『アジア・アフリカ詩集』世界現代詩集第九卷（飯塚書店 一九六二年七月二十一日初版 一九六九年七月二十一日再版）
- 4 著者『変革期の詩人たち―現代中国詩人論―』（飯塚書店 一九六四年九月一日）
- 5 訳編『ベトナム詩集』（光和堂 一九六五年九月二十五日初版 一九六五年十二月一日再版 一九六七年一月一日三版）
- 6 訳書『南ベトナム解放軍戦闘記』ベトナム人民軍出版社編（光和堂 一九六八年九月一日初版 一九六九年一月十日再版）
- 7 著書『ホーチミン』『獄中日記』―その詩とそのひと―（飯塚書店 一九六九年十二月十日初版 一九四一年十月再版）
- 8 詩集『天敵』（光風社 一九七〇年十二月二十五日）
- 9 著書『華北根拠地の文学運動―抗日戦期の成長と発展―』東洋人の行動と思想第二十五卷（評論社 一九七七年八月二十日）
- 10 著書『近代中国文学運動の研究』（九州大学出版会 一九七九年七月一日）
- 11 訳編『現代中国の詩人馮至詩集』（土曜美術社 一九八九年十一月二十日）

秋吉勝廣（筆名秋吉久紀夫）教授 業績目録稿

中国文学論集 第二十一号

- 12 訳編『現代中国の詩人何其芳詩集』(土曜美術社 一九九一年一月二十日)
13 訳編『現代中国の詩人卞之琳詩集』(土曜美術社 一九九二年二月十日)
14 訳編『現代台湾の詩人陳千武詩集』(土曜美術社 一九九三年二月十日刊行予定)

二 共著共訳書

- 1 共著『独・ソ・中国詩研究』叢書・海外詩研究・第二卷(思潮社 一九六二年九月一日)
2 共訳『中国現代文学選集』第十九卷(平凡社 一九六二年十一月初版 一九七二年二月十日再版(『中国の革命と文学』第十二卷))

三 編集・校訂

- 1 編集『地殻詩集―一九六〇年版―』(地殻社 一九六〇年十月二十五日)
2 編集『地殻詩集―一九六二年版―』(地殻社 一九六二年八月十五日)
3 共編『解放後の文学論争資料』―近代中国文学を理解するための試論―樋口進共編(中国文学評論社 一九六四年十二月五日)
4 共編『大衆化への過程資料―近代中国文学のもつ課題』―近代中国文学を理解するための試論(2)―樋口進共編(中国文学評論社 一九六六年十月二十二日)
5 共編『革命的リアリズムと革命的ロマンチズムの結合資料』―近代中国文学を理解するための試論(3)―樋口進共編(中国文学評論社 一九六七年十月二十日)
6 編集『江西蘇区での詩歌運動関係資料』―近代中国文学を理解するための試論(4)―(中国文学評論社 一九六八年十月五日)

- 7 編集『中国での文学運動の展開資料―一九五〇年代後半から六〇年代始めの河北省での詩歌運動を中心に』
（中国文学評論社 一九六九年二月二十一日初版 一九七二年十一月二十五日増補再版）
- 8 『江西蘇区文学運動資料集』東洋学文献センター叢刊第二十四輯（東京大学東洋文化研究所附属東洋学文献センター一九七六年二月二十五日初版 一九七九年十一月二十日汲古書院再版）
- 9 監修『前灯新話校訂』（中国文学評論社 一九八五年九月一日）
- 10 編集『近世より現代に至る来日中国文学者・思想家たちの日本文化受容に関する総合的研究』（文部省科学研究費補助）（九州大学言語文化部 一九九〇年二月二十日）

四 単行書・分担執筆

- 1 郭沫若詩集『女神』の成立過程（『目加田誠博士還暦記念中国学論集』 大安 一九六四年十一月一日）
- 2 郭沫若のロマンチズムの性格（小野忍博士退官記念文集『近代中国の思想と文学』東京大学文学部中国文学研究室編 大安 一九六七年七月一日）
- 3 陳海闊の「王充の哲学思想」をめぐって（『目加田誠博士古稀記念中国文学論集』 龍溪書舎 一九七四年十月十日）
- 4 蒲風の日本での創作活動（『岡村繁教授退官記念中国詩論集』 汲古書院 一九八六年十月五日）
- 5 陳千武の文学への出発（『近世より現代に至る来日中国文学者・思想家たちの日本文化受容に関する総合的研究』九州大学言語文化部 一九八九年二月二十日）
- 6 日本関於中国解放区文学研究（中国解放区文学研究会天津分会編『創造新世界的文学―首届中国解放区文学研討会論文集』馬玉珍訳（中国 北京文化芸術出版社 一九八九年五月）
- 7 丁玲の詩「七月的延安」と二つの抗戦劇（『樋口進教授古稀記念論文集』 中国書店 一九九〇年五月一日）

五 論文

- 1 中国の現代叙事詩（「中国文芸座談会ノート」九州大学中国文学研究会 第二号 一九五四年十一月）
- 2 現代中国の詩論（「中国文芸座談会ノート」九州大学中国文学研究会 第八号 一九五六年七月）
- 3 臧克家論（「中国文芸座談会報」九州大学中国文学研究会 第十二号 一九五九年十二月）
- 4 聞捷詩集『天山牧歌』の持つ意味（「九州中国学会報」九州中国学会 第七卷 一九六一年六月）
- 5 何其芳の詩論（「現代中国」現代中国学会 第二十九号 一九六四年十月）
- 6 故事会と新詩歌運動（「現代中国」現代中国学会 第四十二号 一九六九年七月）
- 7 田間の詩の文体とその変遷（「現代中国語総合研究会報」現代中国語総合研究会 第二号 一九六九年九月）
- 8 海豊、陸豊地区の文芸運動（「中国文学論集」九州大学中国文学会 第一号 一九七〇年五月）
- 9 近代中国詩形成への出発点（九州中国学会報）九州中国学会 第十七卷 一九七〇年五月）
- 10 抗日戦争期の延安地区文学運動（「中国文学論集」九州大学中国文学会 第四号 一九七四年五月）
- 11 唐代女性詩人魚玄機伝記伝本考（「香椎瀉」福岡女子大学国文学会 第二十号 一九七五年二月）
- 12 呂振羽の文化遺産継承論（「九州中国学会報」九州中国学会 第二十卷 一九七五年五月）
- 13 華北根拠地の詩歌運動（「中国文学論集」九州大学中国文学会 第五号 一九七六年二月）
- 14 明代初期の文人瞿祐考（「香椎瀉」福岡女子大学国文学会 第二十二号 一九七七年十月）
- 15 原『剪刀新話』の刊期（「中国文学論集」九州大学中国文学会 第七号 一九七八年六月）
- 16 惲代英の思想（「中国哲学論集」九州大学中国哲学研究会 第四号 一九七八年十月）
- 17 再び剪刀新話について―萬曆期文芸思想動向の一斑（「文芸と思想」福岡女子大学文学部 第四十四号 一九八〇年一月）
- 18 重校剪刀新話の成立（「香椎瀉」福岡女子大学国文学会 第二十六号 一九八一年二月）
- 19 台湾の孤魂の詩人楊華―一九二〇年代の中国文学の一駒（「文学論輯」九州大学教養部 第二十号 一九八四年）

- 年八月)
- 20 蒲風の「明信片詩」を契機として(「文学論輯」九州大学教養部 第二十一号 一九八五年八月)
- 21 蒲風の風刺詩―一九二〇年代の日中文学運動の交流―(「文学論輯」九州大学教養部 第二十二号 一九八六年十月)
- 22 何其芳のおける「童年的王国」(「中国文学論集」九州大学中国文学会 第十五号 一九八六年十二月)
- 23 陳千武の詩「信鴿のなかの『死』」(「文学論輯」九州大学教養部 第二十四号 一九八八年十二月)
- 24 馮至与魯迅―關於「十四行詩」・魯迅(「中国文学論集」九州大学中国文学会 荀春生訳 第十七号 一九八八年十二月)
- 25 陳千武の詩「野鹿」の主題(「文学論輯」九州大学教養部 第二十五号 一九八九年十二月)
- 26 陳千武詩集『愛の書籤』の表紙から(「文学論輯」九州大学教養部 第二十六号 一九九〇年十二月)
- 27 卞之琳の詩「尺八」の内含するもの(「文学論輯」九州大学教養部 第二十七号 一九九二年二月)
- 28 陳千武の詩における媽祖(「香椎瀉」福岡女子大学国文学会 第三十八号 一九九三年二月 発行予定)
- 29 陳千武の詩における媽祖(2)(「文学論輯」九州大学教養部 第二十八号 一九九三年三月 発行予定)

六 語彙編集

- 1 工業中国語語彙編(その一) 一九六九年三月三十日『教養論集』第一号 近畿大学第二工学部
- 2 工業中国語語彙編(その二) 一九七〇年三月三十日『教養論集』第二号 近畿大学第二工学部
- 3 工業中国語語彙編(その三) (稲岡巖共編) 一九七二年三月三十日『教養論集』第四号 近畿大学第二工学部
- 4 工業中国語語彙編(その四) (稲岡巖共編) 一九七三年三月三十日『教養論集』第五号 近畿大学第二工学部

七 中国・台湾・韓国で翻訳・掲載された論文および評論など

- 1 民衆劇団与魯芸(川一節訳) 一九八五年二月 『延安文芸研究』一九八五年第一期 陝西省社会科学院文学研究所
- 2 日本關於中国解放区文学的研究(馬玉珍訳) 一九八六年二月 『延安文芸研究』一九八六年第一期 陝西省社会科学院文学研究所(一九八九年五月北京文化艺术出版社刊『創造新世界的文学』に収録される)
- 3 台湾の孤魂詩人楊華(卞立強訳) 一九八七年二月 『新文学史料』第一期 中国社会科学院文学研究所編人民文学出版社
- 4 武田泰淳和中国現代詩(石山訳) 一九八七年九月 『日本学者中国文学研究訳叢第二輯』吉林大学編集 吉林教育出版社
- 5 蒲風和「明信片詩」(羅可群訳) 一九八七年五月 『社会科学論文選口求是集』広州外国語学院
- 6 馮至与魯迅——關於「十四行詩・魯迅」——(荀春生訳) 一九八八年十月 『中国文学』第十六輯 ソウル大学中国文学科編集 韓国中国語文学会
- 7 馮至年譜試稿 一九八八年十月 『中国文学』第十六輯 ソウル大学中国文学科編集 韓国中国語文学会
- 8 論何其芳的「童年的王国」(葉方俠訳) 一九八九年二月 『中外詩歌交流与研究』一九八九年第一期 重慶、西南師範大学中国新詩研究所
- 9 何其芳的「童年的王国」(李雨節訳) 一九八九年四月 『何其芳研究』第十二期 四川省万鼎師專万鼎文化局
- 10 林林先生談俳句(葉方俠訳) 一九八九年六月 『中外詩歌交流与研究』一九八九年第二・三期 重慶、西南師範大学中国新詩研究所
- 11 丁玲の詩「延安の七月」与兩個抗戰戲劇(荀春生訳) 一九八九年八月 『延安文芸研究』一九八九年第三期 陝西省社会科学院文学研究所

- 12 『白毛女』の誕生（王友懷訳） 一九八九年十一月 『延安文芸研究』一九八九年第四期 陝西省社会科学院文学研究所
- 13 「祝賀」日本学者中国文学研究訳叢『発行』 一九九〇年三月 『日本学者中国文学研究訳叢』第四輯 吉林教育出版社
- 14 毛沢東『文芸講話』の意義（王友懷訳） 一九九〇年五月 『延安文芸研究』一九九〇年第二期 陝西省社会科学院文学研究所
- 15 陳千武の詩「野鹿」の主題（桓夫訳） 一九九〇年六月 『陳千武作品選集』台湾台中県立文化中心
- 16 致中国詩人馮至先生（葉方俠訳） 一九九一年三月 『中外詩歌交流与研究』一九九一年第一期 重慶、西南師範大学新詩研究所
- 17 陳千武の文学出発期（陳武雄訳） 一九九一年十月 『笠』第一六五号 台湾台北市笠詩刊社
- 18 從陳千武詩集『愛的書籤』封面談起（陳武雄訳） 一九九二年二月 『笠』第一六七期 台湾台北市笠詩刊社
（中国での翻訳、研究協力）
- 19 日本近代文学史話（中村新太郎著） 卞立強、俊子訳 一九八六年二月 北京大学出版社
- 20 晋察冀文芸史 王劍青、馮健男主編 一九八九年十二月 中国文联出版公司

八 辞典類

- 1 世界文学小辞典（中国現代詩関係） 一九六六年五月二十日 新潮社
- 2 学研グラウンド現代百科辞典（中国現代詩関係） 一九七〇年 学習研究社
- 3 ブリタニカ国際大百科辞典（中国現代文学） 一九七四年六月一日 TBSブリタニカ
- 4 新百科辞典（中国現代詩関係） 一九八四年一月 小学館
- 5 平凡社大百科事典（中国現代詩関係） 一九八四年十一月二日 平凡社

秋吉勝廣（筆名秋吉久紀夫）教授 業績目録稿

- 6 中国思想辞典 日原利国編（何其芳・呂振羽） 一九八五年 研文出版
 7 ブリタニカ国際大百科事典（改訂版）（中国現代文学） 一九八五年十月 TBSブリタニカ
 8 万有百科大事典（中国現代詩関係） 一九八七年 小学館
 9 世界文学大辞典（中国現代詩関係） 一九八九年五月一日 総合社
 10 ブリタニカ国際大百科事典（三訂版）（中国現代文学） 一九九〇年十月 TBSブリタニカ

九 作品・翻訳収録書

- 1 作品収録『驚雷集』中国 詩刊社編 李芒訳（中国 詩刊社 一九六二年三月）
 2 作品収録『九州詩集—一九六三年版—』九州詩集編集委員会編（思潮社 一九六三年十月一日）
 3 翻訳収録『世界の名詩』丸山薫編（集英社 一九六五年五月三十日）
 4 翻訳収録『詩歌でつづる女の一生』安西均、高田敏子編（社会思想社 一九六七年四月三十日）
 5 翻訳収録『愛の詩集』新川和江編（集英社 一九六八年八月十五日）
 6 作品収録『世界の旅の詩』村田正夫編（文理書院 一九六八年九月十日）
 7 翻訳収録『季節の詩集』新川和江編（集英社 一九六九年十二月二十五日）
 8 翻訳収録『世界反戦詩集』長谷川四郎・木島始編（太平出版社 一九七〇年六月二十日）
 9 作品収録『日本原爆詩集』木下順二・堀田善衛編（太平出版社 一九七〇年六月二十日）
 10 作品収録『九州詩集—一九七三年版—』九州詩集刊行会（葦書房 一九七三年五月二十五日）
 11 翻訳収録『世界の名詩』小海永二編（大和書房 一九八〇年十一月三十日）
 12 作品収録『資料・現代詩』日本現代詩人会編（講談社 一九八一年六月二十日）
 13 作品収録『戦後詩選』村田正夫編（潮流出版社 一九八五年十一月二十日）
 14 作品集録『現代の詩・1991』日本現代詩人会編（大和書房 一九九一年四月十五日）

一〇 書評および解説

- 1 Chinese Literature — 文革後の文学動向を示す — 一九七二年三月一日『アジアレビュー』一九七二年第一号 朝日新聞社
- 2 『風展紅旗』 — 中国の文学運動理解の糸口 — 一九七四年六月一日『アジアレビュー』一九七四年第二号 朝日新聞社
- 3 田昌五著『王充 — 古代的戦闘唯物論者 —』一九七五年六月一日『アジアレビュー』一九七五年六月号 朝日新聞社
- 4 佐々木久春訳『中国現代詩集』一九九〇年十二月一日『詩と思想』一九九〇年十二月号 土曜美術社

十一 評論・随想・紀行など

- 1 戦後世界文学について — 中国現代の性格 — 一九五六年二月十日『労働九州』 労働九州新聞社
- 2 戦後世界文学について — 中国作家の態度 — 一九五六年二月二十五日『労働九州』 労働九州新聞社
- 3 中国の現代詩論 一九五六年八月六日『青銅時代』第六号 青銅時代社
- 4 世界のあたらしい詩人「聞捷詩集」『天山牧歌』一九六二年四月一日『現代詩手帖』四月号 思潮社
- 5 中国現代定型詩論争と現在の日本左翼詩 一九六二年十月一日『現代詩手帖』十月号 思潮社
- 6 中国現代詩展望 一九六二年十一月一日『詩学』十一月号 詩学社
- 7 現代アジア・アフリカの詩 一九六三年五月十三日『西日本新聞』西日本新聞社
- 8 翻訳随想 一九六三年十二月二十二日『西日本新聞』西日本新聞社
- 9 現代中国詩の方向 一九六四年十一月『詩学』十一月号 詩学社

秋吉勝廣（筆名秋吉久紀夫）教授 業績目録稿

- 10 南ベトナムのひとびとの声 一九六五年七月一日『大安』第十一卷第七号 大安書店
- 11 新しい中国を知るための糸口 一九六六年八月二十八日、二十九日、三十日『毎日新聞』毎日新聞社
- 12 中国展をみて 一九六六年十月六日、八日『毎日新聞』毎日新聞社
- 13 中国で見た詩運動 一九六七年一月一日『大安』一九六七年一月号 大安書店
- 14 アジア・アフリカの詩 一九六七年一月五日『詩の学習』飯塚書店
- 15 詩論「海と葦と手」 一九七〇年六月一日『一九七〇年版福岡県詩集』思潮社
- 16 文革後やっと出た二冊の詩集 一九七二年十二月八日『毎日新聞』(夕刊)毎日新聞社
- 17 馬王堆とわたし 一九七三年三月五日『ポリタイア』第十六号 皆美社
- 18 詩論『新体詩抄』批判 一九七三年五月二十五日『一九七三年版九州詩集』葦書房
- 19 一九七〇年以降の詩に関する覚書 一九七三年十二月一日『中国語』第一六七号 大修館書店
- 20 わたしのなかの図書館 一九七五年三月一日『福岡女子大学広報』福岡女子大学
- 21 確かな存在志向 一九七七年十二月十二日『毎日新聞』(夕刊)毎日新聞社
- 22 現代詩の理解のために 一九七八年七月一日『中国語』一九七八年七月号 大修館書店
- 23 わが著書を語る『近代中国文学運動の研究』 一九七九年九月一日『出版ニュース』九月上旬号 出版ニュース社
- 24 瞿佑の墓 一九七九年十一月一日『福岡女子大学国文学会会報』第五号 福岡女子大学国文学会
- 25 平城京跡の人形から 一九八二年三月十五日『福岡女子大学広報』第二〇号 福岡女子大学
- 26 「文字の精」もつ図書館に 一九八二年『筑紫海会会報』福岡女子大学同窓会
- 27 武田泰淳と現代中国詩(一) 一九八三年八月二十日『中国研究センター会報』第三十五号 中国研究センター
- 28 蒲風の詩集『六月流火』をめぐって 一九八三年九月『目加田誠著作集』月報 龍溪書舎
- 29 武田泰淳と現代中国詩(二) 一九八三年十一月一日『中国研究センター会報』第三十六号 中国研究センター
- 30 武田泰淳と現代中国詩(三) 一九八四年一月一日『中国研究センター会報』第三十七号 中国研究センター

- 31 武田泰淳と現代中国詩(四) 一九八四年三月一日 『中国研究センター会報』第三十八号 中国研究センター
- 32 中国の現代化と詩人―李瑛氏は語る― 一九八五年六月十三日 『毎日新聞』(夕刊) 毎日新聞社
- 33 未名湖の詩人たち―北京大学生サークル― 一九八五年六月二十五日 『九大教養部報』第八十三号 九州大学教養部
- 34 下立強氏と日本文学 一九八五年七月一日 『交流簡報』第五十五号 日本中国学術交流協会
- 35 『耳なし芳一』の護符 一九八六年 『KUIFA』第二十五号 九州大学国際親善会
- 36 村越欣弥は王金龍―北京芝居參觀記― 一九八六年六月二十七日 『九大学報』第一二三九号 九州大学
- 37 中国現代詩人馮至訪問記(一) 一九八六年九月一日 『中国研究センター会報』第四十四号 中国研究センター
- 38 中国現代詩人馮至訪問記(二) 一九八六年九月一日 『中国研究センター会報』第四十六号 中国研究センター
- 39 中国現代詩人馮至訪問記(三) 一九八六年九月一日 『中国研究センター会報』第四十七号 中国研究センター
- 40 重慶で会った詩人黄瀛 一九八七年九月十七日 『毎日新聞』(夕刊) 毎日新聞社
- 41 林林氏に聞く―一九三〇年代日中文学運動の一解明― 一九八七年十二月五日 『文学論輯』第三十三号 九州大学教養部
- 42 寂寞の詩人馮至 一九八九年八月一日 『詩と思想』 一九八九年八月号 土曜美術社
- 43 馮至氏への書信 一九八九年十二月二十一日 『毎日新聞』(夕刊) 毎日新聞社
- 44 馮至氏と陳千武氏と 一九九〇年二月二十八日 『詩学』一九九〇年三月号 詩学社
- 45 人間どもの非常さに憤り―何其芳の詩を貫くもの― 一九九一年三月六日 『西日本新聞』『中日新聞』『北海道新聞』
- 46 黄瀛氏の詩「しるく・ろいど幻想」について 一九九一年六月二十八日 『九大教養部報』第一〇七号 九州大学教養部
- 47 若い詩人西川君へ―第二次天安門事件後の中国現代詩― 一九九一年十一月二十一日 『東京新聞』『中日新聞』『西日本新聞』『北海道新聞』

秋吉勝廣(筆名秋吉久紀夫) 教授 業績目録稿

中国文学論集 第二十一号

- 48 随想『交流と異境』（1）～（50） 一九九二年七月十八日から九月十五日まで連載 『西日本新聞文化欄』
西日本新聞社
- 49 台湾文学界の二つの動向 一九九二年十二月九日 『東京新聞』（夕刊）、『中日新聞』
- 50 「尺八」の音色 一九九二年十二月 『文芸家協会ニュース』第四九六号 日本文芸家協会